

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成30年度 第2回)

事業評価対象事業の一覧表及び位置図

平成30年度 第2回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要	
1	道路事業	一般国道163号 木津東バイパス	H29	⑤ 事業の節目 (設計完了)	<p>●概要：一般国道163号木津東バイパスは、関西文化学術研究都市「木津中央地区」の開発や地域のまちづくりを支援するほか、京都府が整備する東中央線とのネットワークにより木津川市の中心市街地を通過する国道24号、163号の重複区間における慢性的な交通混雑の緩和を目的とした、京都府木津川市木津天神山から京都府木津川市木津馬場南に至る延長約0.6kmの道路です。</p> <p>●事業化年度：平成23年度 ●全体事業費：約65億円 ●事業の進捗：約56%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>	
2	道路事業	一般国道28号 洲本バイパス	H27	⑤ 10%を超える 事業費の増加	<p>●概要：洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、洲本市内の国道28号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時の代替路の確保を目的とした延長6.0kmのバイパスである。</p> <p>●事業化年度：昭和60年度 ●全体事業費：約400億円 ●事業の進捗：約83%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>	
3	道路事業	一般国道27号 西舞鶴道路	H28	⑤ 10%を超える 事業費の増加	<p>●概要：西舞鶴道路は、舞鶴市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保、高速道路へのアクセス強化、緊急輸送道路としての機能向上を目的とした延長4.9kmの道路です。</p> <p>●事業化年度：平成19年度 ●全体事業費：約400億円 ●事業の進捗：約23%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>	
4	道路事業	一般国道42号 すさみ串本道路	H28	⑤ 10%を超える 事業費の増加	<p>●概要：一般国道42号すさみ串本道路((仮称)串本IC～すさみ南IC)は、紀伊半島一周となる幹線道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路です。</p> <p>●事業化年度：平成26年度 ●全体事業費：約960億円 ●事業の進捗：約11%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>	
		高規格 幹線道路 近畿 自動車道 紀勢線	一般国道42号 串本太地道路	H29 (新規採択)	⑥ 一体評価 実施のため	<p>●概要：一般国道42号串本太地道路((仮称)太地IC～(仮称)串本IC)は、紀伊半島一周となる幹線道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路です。</p> <p>●事業化年度：平成30年度 ●全体事業費：約900億円 ●事業の進捗：約0%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>
		一般国道42号 新宮紀宝道路	H27	⑤ 10%を超える 事業費の増加	<p>●概要：一般国道42号新宮紀宝道路 ((仮称)紀宝IC～(仮称)新宮北IC)は、紀伊半島一周となる幹線道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路です。</p> <p>●事業化年度：平成25年度 ●全体事業費：約350億円 ●事業の進捗：約10%(平成30年3月末) ●今後の予定：早期の開通を目指す。</p>	

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥: 道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

事業評価対象事業の位置図

赤字:再評価

